

問 健康増進課（保健センター） ☎720-5000

「伊奈町保健事業のお知らせ」と併せてご覧ください。

内：内容 対：対象 定：定員 持：持ち物 費：費用 申：申込み

♥ 予防接種

※予防接種でご不明の点は、健康増進課までお問い合わせください。

費 無料

- 各種予防接種については、「伊奈町保健事業のお知らせ」または町ホームページでご確認ください。
- 転入等で予診票をお持ちでない方は、必ず母子健康手帳を持参のうえ、健康増進課(保健センター)までお越しください。
- 予防接種の際は、保護者の同伴が必要となります。特別な理由で同伴できない場合は委任状が必要となりますので、健康増進課(保健センター)までお越しください。

♥ 母子保健

お母さんと赤ちゃんの健康のために

場 保健センター

名 称	実施日	内容・対象・持ち物	受付時間	備考
乳児健康診査	12/14(金)	対平成30年8月生 持母子手帳・質問票(はがき)・バスタオル	13:10 ~13:50	申当日直接会場へ 整理番号札は12:30から保健センター側入口にお出しします。なお、対象児には個別通知します。
	1/11(金)	対平成30年9月生		
1歳6か月児健康診査	12/21(金)	対平成29年5月生 持母子手帳・質問票(はがき)		
	1/18(金)	対平成29年6月生		
3歳児健康診査	12/4(火)	対平成27年7月生 持母子手帳・アンケート用紙・尿		
	1/8(火)	対平成27年8月生		
乳児相談	12/14(金) 1/11(金)	内身体計測・育児全般の相談 対1歳未満 持母子手帳・おむつ・バスタオル	9:30 ~10:30	申当日直接会場へ
育児相談	12/21(金) 1/18(金)	内身体計測・健康・育児・栄養等の相談 対1歳以上就学前 持母子手帳・おむつ		
幼児相談	12/25(火) 1/25(金)	対発育・発達等の面で気になる方 持母子手帳	予約制	相談時間についてはお問い合わせください。
離乳食講習会	12/18(火)	内栄養士が離乳食の進め方や作り方について実習を交えて指導します。 持母子手帳・筆記用具	9:50 ~10:00	場料理室 申当日直接会場へ
フッ素塗布	12/19(水)	対1歳6か月児健診で歯科受診済で就学前の幼児(希望者) 持母子手帳・タオル ※歯の健康手帳をお持ちの方は持参してください。	13:30 ~14:30	費1,404円 申当日直接会場へ ※6か月間隔で塗布します。

小児の急病・けがに

●小児初期救急当番医（月～土曜日20時～22時、祝日および年末年始は除く）

平日の夜間にお子さんの急病・けがなどが発生した場合、桶川・北本・伊奈地区の当番医が診療します。

☎ 伊奈町消防本部・署 ☎722-8111

●小児救急電話相談

☎#8000（NTTのプッシュ回線、携帯電話をご利用の場合）または
☎833-7911（IP電話・ひかり電話・ダイヤル回線をご利用の場合）



名称	実施日	内容・対象・持ち物	受付時間	備考
健康相談	12/19(水) 1/16(水)	内 保健師・栄養士による血圧測定・検尿・ 栄養相談等 対 町民の方 持 健康手帳（初めてのの方は当日交付）	10:00 ～11:00	申 当日直接会場へ
こころの健康相談	1/30(水)	内 専門の相談員が家族関係や職場での悩み など、さまざまな相談に応じます。 対 町民の方	予約制	相談時間についてはお問い合わせください。

い～な！健康マイレージ対象事業

肺がん検診（集団）を実施します

実施日	性別	受付時間	定員
平成31年 1月24日(木)	女性	9時30分～11時	各120名
	男性	13時30分～15時	
1月29日(火)	男性	9時30分～11時	
	女性	13時30分～15時	
1月31日(木)	女性	13時30分～14時15分	各60名
	男性	14時15分～15時	

内 X線撮影による検診・喀痰検査（かくたん 喀痰検査については、必要と認めた方）
※要事前予約
※希望者には血圧測定を行います。

場 保健センター

対 40歳以上（昭和54年3月31日以前生まれ）の町民

費 300円（喀痰検査は別途600円）

※70歳以上（昭和24年3月31日以前生まれ）の方は無料

【注意事項】

- ① 喀痰検査のみの受診はできません。
- ② 無地のTシャツであればそのまま検査できます。
- ③ 妊娠中の方は受けられません。

※い～な！健康マイレージカードをお持ちの方は当日ご持参ください。

申 12月17日(月)から健康増進課窓口または電話で受付



統合失調症

統合失調症とは、聞こえないはずの音が聞こえる（幻聴げんちょうといいますが）、実際にはされていないのに見張られている、盗み聞きされているなどと感じる（妄想もうそつといいますが）、些細なことで急に興奮して暴力的になる、などの症状が出る病気です。

約100人に1人が発症する病気で、20歳代前半から30歳代で発症することが多いです。

脳の神経が何かのきっかけでうまく働かなくなり、また脳の神経が傷ついてしまうことが原因と考えられていますが、脳の神経について完全に解明されたわけではありません。今後さらに研究が進んで、より詳しく分かっていくことでしょう。

治療には、抗精神病薬こうせいしんびょうやくと呼ばれる薬が使われます。薬には脳の神経の働きを元に戻し、傷ついた神経を修復する役割があります。飲んですぐに効くのではなく、時間をかけて徐々に効いてくる人が多いです。

幻覚、妄想、興奮といった症状に対して薬は効果的で、

数週間～数ヶ月の間に症状が落ち着くことが多いです。症状が落ち着いた後も、再発を防ぐために薬は飲み続けます。

幻覚、妄想、興奮が治療によって改善すると、その後は表情が少なくなり元気がなく、寝ている時間が長く引きこもりがちになる、まるでエネルギー切れを起こしたかのように見える時期が出現します。

この時期は何年という単位で続き、薬を飲んでいただけでは改善しないことが多いです。

病院のデイケアなどを利用して、人と関わり社会に参加する練習をしている方が多いです。

以前は「統合失調症を発症するとどんどん悪化して治らず、病院に一生入院しっぱなし。」というマイナスのイメージが強かったです。

しかし、最近では早く治療を開始することによって早期に改善し、薬をしっかり服用し続けることで、安定した生活を送ることが出来るようになってきました。病気の治療を行いつつ一人暮らしをしたり、仕事をするなど、自立出来ている人も増えています。

〈提供：（一社）桶川北本伊奈地区医師会〉